

## 気象集誌電子投稿システム・気象集誌論文賞のお知らせ

気象集誌編集委員会

気象集誌 (Journal of the Meteorological Society of Japan) は1882年の日本気象学会創立とともに、気象学の調査・研究・翻訳・紹介・研究計画書など幅広い情報交換のための機関誌として創刊されました。現在は、SOLA とともに日本気象学会の主たる国際英文雑誌として、気象学全般についての独創的な研究論文を出版し続けています。他の国際誌との競争が激化する中、気象集誌も時代の流れに沿った2つの新たな仕組みを導入することにしましたので、お知らせいたします。

### 1. 電子投稿システムへの移行

気象集誌は2010年2月上旬に電子投稿システムへ移行しました。これまで印刷された原稿を編集委員長宛送っていただく古典的方法で投稿を受け付けてきましたが、SOLA と同様、J-STAGE を利用しての電子投稿が可能となります。電子投稿の URL は以下のとおりです。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jmsj>

これにより、査読および編集過程にかかる時間を大幅に短縮できると期待されます。また、受理された論

文のプレプリントは、印刷されるまでの間、PDF ファイルの形で学会ホームページに掲載されることとなります。

### 2. 気象集誌論文賞の創設

気象集誌では、新たに「気象集誌論文賞」(英語名 JMSJ Award) を設けることになりました。これは、前1年間に気象集誌に掲載された論文の中から、毎年数編優秀な論文を選定し、顕彰するものです。年齢制限はなく、同一著者が何度でも受賞できます。「論文」及び「ノート」が対象となり、「招待論文」は対象となりません。特別号、特集号の「論文」と「ノート」も対象となります。気象集誌論文賞を受賞した論文は、気象集誌および「天気」に著者名と論文名を掲載し、気象学会のホームページに著者名と論文名および電子アーカイブのリンク先を載せて広く紹介いたします。また、受賞論文の著者全員には編集委員長名で賞状が贈られます。最初に気象集誌論文賞の対象となるのは2010年に発行される論文です。皆様の積極的な論文の御投稿をお待ちしております。